



すぎなみ

教育報

第173号
平成16年6月30日
発行 杉並区教育委員会
杉並区阿佐谷南1-15-1
☎ 3312-2111 FAX 5307-0692
区公式ホームページ
<http://www.city.suginami.tokyo.jp/>

杉並区は **教育** **改** **革** をすすめています

教育委員会では、「教育改革アクションプラン」に基づき教育改革を推進しています。「特色ある学校づくり」「地域に開かれ、地域の中にある学び舎としての学校づくり」の取り組みとして、学校評議員や学校評価の充実、小中一貫教育、幼小連携教育の推進、小中学校での二学期制などを実施しています。今号では、学校教育、社会教育における杉並区教育改革の具体的な取り組みをいくつかご紹介します。



幼小連携教育のモデル事業を始めます!

教育委員会は、幼小連携教育を推進することとし、モデル事業を杉並第四小学校と高円寺北幼稚園において平成17年度から始めようと準備を進めています。

幼小連携教育って何

幼小連携教育は、幼稚園や保育園での就学前教育と小学校教育との連続性を考慮した連携を進めるものです。幼児教育から学校教育への円滑な移行を図るとともに、より効果の高い教育を行うことをねらいとしています。

どんな教育内容

杉並区が進めている幼小連携教育では、幼稚園の2年間と小学校の6年間の8年間にわたって「つながり」と「深まり」のある教育活動を展開し、日頃から遊びや学びの場をとおして、次のような交流活動を積極的に行います。

- 遊びへの招待 ~ 一緒に遊ぼう・歌おう
- 探検をしよう ~ 幼稚園へ行こう・小学校へ行こう
- 発表会をしよう ~ 音楽会・展覧会
- おいでよ小学校へ ~ 運動会・体験入学・給食を食べてみよう



期待される効果は

幼児にとっては、より広い環境の中で思い切り遊ぶことができ、小学生とのふれあいによって、より豊かな人間関係が形成され、小学校へのスムーズな移行が期待できます。

児童にとっては、自己表現や成長の喜びを体験できたり、幼児とのふれあいにより、他を思いやる心をもったりするようになることが期待できます。

幼児の保護者にとっては、より長い子育て経験をもつ小学生の保護者から実際の経験に基づいた情報を得ることができ、小学生の保護者にとっては、改めて我が子の成長を実感し、親子関係を振り返る機会が得られます。

教員にとっては、互いの教育目標・教育活動について知り、関心をもったり理解を深めたりすることで、指導力の向上が期待できます。

モデル事業の準備として

今回の幼小連携教育のモデル事業は、杉並第四小学校内に高円寺北幼稚園施設を移設し、平成17年度からスタートする予定ですが、移設やモデル事業実施の準備について検討を行うため、保護者や学校評議員の方々をメンバーとして、本年3月に幼小連携教育準備委員会を発足させました。検討の過程では、先進事例の小学校と幼稚園の視察や保護者説明会、学校見学会など実施しました。平成17年3月までには、移設のための施設改修工事やカリキュラム作成を行います。

幼小連携教育準備委員会の討議内容や保護者説明会での質疑応答などは、教育委員会や学校のホームページでご覧になれますのでご利用ください。

教育委員会 <http://www.kyouiku.city.suginami.tokyo.jp/>
杉並第四小学校 <http://www.suginami4-e.suginami-tky.ed.jp/>



学校や地域の活動で「人材」を求めていますか？学校図書室運営や読み聞かせ、英語指導や国際交流を「すぎなみコミュニティカレッジ」で学び、活動意欲を持つ方をご紹介します。まずご相談を！

問い合わせ先：社会教育センター ☎3317-6621



魅力ある教育の実現に向けて進めています

杉並区の教育改革

みなさんにとって身近な学校や図書館、社会教育の場で
このような新しい施策、計画を実施していきます。



社会教育委員による 「社会教育・スポーツ施策について」 の答申が出されます

平成15年7月、教育委員会から諮問を受け、審議を進めていた「社会教育委員の会議」(議長:香月浩之)が、今年8月、「杉並区社会教育・スポーツ施策の方向性と目標について」の答申を出すこととなりました。3月にはこれまでの審議の内容と今後の方向性について中間報告が出されました。同会議では、地域社会と学校教育、地域社会と家庭教育の問題における社会教育の果たすべき役割に焦点をあて、現在、次の4つの柱に沿って最終答申に向け審議が進められています。

- 地域と学校のより緊密な連携
- 子育て、子育てと社会教育
- スポーツ振興と地域コミュニティづくり
- 区民やNPOなどとの協働や人材育成

社会教育委員は、この答申のなかで、学校の役に立つことができる地域の人材発掘や「総合型地域スポーツクラブ」の創設・支援など、今後の杉並区社会教育・スポーツ振興のあり方について、具体的に提言していく予定です。

「子ども読書活動推進委員会」がスタートしました

教育委員会では、平成15年11月に「子ども読書活動推進計画」を策定しました。この計画を実施するにあたり、区民等の幅広い意見を求めるために「子ども読書活動推進委員会」がスタートしました。

「子ども読書活動推進委員会」の委員は以下とおりです。

構成	氏名	職名
学識経験者	秋 田 喜代美	東京大学大学院教育学研究科教授
学識経験者	有 川 裕 俊	絵本館 代表・編集者
子ども読書活動関係団体	岸 洋 子	杉並文庫・サークル連絡会代表
公 募	熱 田 としみ	
公 募	海 保 直 見	
公 募	杉 田 貴 子	
学校代表	大 石 禎 子	杉並区立高井戸第三小学校校長
学校代表	池 田 芳 子	杉並区立杉森中学校校長



第1回委員会では、「杉並区子ども読書月間」の設定や、「子ども文学賞創設」などについて意見交換を行いました。

問い合わせ先 中央図書館サービス係
☎ 3391 - 5154

「杉並区立小中学校適正配置基本方針素案を公表しています。」 ～ ご意見をお寄せください ～

既に6月16日発行の教育報臨時号でもお伝えしていますが、教育委員会では、これからの杉並の教育を担う区立小中学校を、地域に適正に配置するための基本方針の素案をまとめ公表し、皆様からの意見を募集しています。素案は、7月12日(月)まで、教育委員会事務局庶務課・学務課・施設課(いずれも区役所東棟6階)、区政資料室(区役所西棟2階)、区民事務所、駅前事務所、分室、図書館の窓口で閲覧できるほか、区公式ホームページ上でもご覧になれます。

ご意見は、ハガキ・FAXで教育委員会事務局庶務課(FAX 5307 - 0692)までお送りいただくか、区公式ホームページの電子掲示板に書き込むこともできます。(7月12日(月)までお願いします。)

問い合わせ先:教育委員会事務局庶務課・学務課・施設課

私の生涯学習

教育委員長職務代理者 大藏 雄之助



今回は、杉並区の教育改革についての考えを求められているが、それにはバックグラウンドや海外の動向にも触れなければならないから、そう簡単ではない。最終的には、孟母三遷にならって全国の保護者が杉並区に移住したいと希望するよう、すばらしい公教育を提供できるようにすることである。

しかし、何ごとをするにも財政的制約があるから、将来の理想像を掲げるだけでは意味がない。今緊急に取り組むべき課題は、新人教員の長期の研修と教員増による習熟度別授業の徹底、要するに小・中学校の学力向上である。その前に、教員の任命権を含む教育権を東京都から杉並区に移管させる必要がある。こうしたことについて、私はあえて議論を起すことを意図して、去年の十月から今年の四月まで、教育委員会のホームページに「教育委員からの意見」として五回にわたって連載した。反応が薄かったのは残念だったが、これは今も読むことができるので、詳細はそちらをご覧ください。皆さんの考えを聞かせていただきたい。

以下にはそれを離れて、私の生涯学習のことを述べる。

私は教育委員指名の話が出る前から、大学定年退職後に何か社会に役立つことはできないかと思いついた。結果、医師になることを決意してそのための勉強を開始していた。高齢者が年金を受け取って豊かに老後を送ることは当然の権利である。けれども私は生来怠け者で、義務を課されなければのんびり暮らしと暮らすことになりそうだったし、さいわいに極めて健康だから、精神医療を志したのである。

多くの国立大学の医学部または医科大学では士入学(三年生に編入して四年間で卒業)を実施しており、気力、体力、記憶力が充実していれば、

年齢による差別をしない」と明記してある。もちろん、その三力が衰えてはいるものの、「実力」を示す機会のないまま、現実には明らかに年齢による排除があり、私は七つの大学の書類選考で不合格となった。ある予備校の説明では、一人前の医者になるには少なくとも十年はかかるために、国立医学部では四十歳超の人間の入学を許可することは国費の無駄使いに等しいとしているとのことだった。

それならば募集要項で「四十歳未満」と制限しておいてもらいたいが、いずれにしても、その道は絶たれた。かと言って、私立では年間一千万単位の学費がかかる。将来医療で稼ぐ意思も可能性もない人には縁遠いコースである。

そこで、私は精神医療に近い心理診療に転向した。今、放送大学大学院の臨床心理の課目履修生に登録しており、ゆくゆくは修士全科生になるつもりである。ただ、放送大学大学院の他のプログラムはほとんど無試験なのに、臨床心理学科は需要が高まりつつある臨床心理士の資格認定が受けられるので、競争率は三十倍を超えているから、またしても、「高齢者」を受け入れてくれるかどうかはわからない。

私は五十五歳まで放送局で働いた。その間に本を書いたり、大学の非常勤講師をしたりしていたが、定年前に退職して大学に勤めた。教育委員は職業ではないから、もしもカウンセラーになれば三足目のわらじを履くことになる。その願いが叶わないとしても、新しいことを学ぶのは楽しい。

教育委員からの発信



今年度の「教育委員からの発信」は、「杉並区の教育改革」をテーマに五人の教育委員が紙面を通じて意見・情報等をみなさんに発信します。

「コベル君のソラ」

教育長 納富 善朗



「コベル君」という男の子をご存じですか。今日は偶然の導きで再会したコベル君のことについて書きます。

今年、私たちは、杉並区の小中学校に学ぶ児童生徒を義務教育の九年間でどのような人を育てるのか(育てたい人間像)について話し合ってきました。正義感、倫理観、思いやり、社会のために役立つとすると意欲、向上心、健康、へこたれない強さなど、子どもたちだれでもが「こころありたい」と思っているに違いない人間像を求めて意見を出し、いろいろな考え方が交わされるなかで徐々にある子ども像(よるこびやいたみ)がわかって、むずかしいと思うことも向かっていく、なぜだろうとしてたどって考える、「すこやかさ」しなやかさ、強さをあわせもった人間像が見えてくるようになった四月半ばのこと、私の記憶装置にある人物をさがし始めました。

「どこかでこんな人のごとを読んだ気がするなあ。誰だっけ」

ほぼ一週間がかりでやっとコベル君という名前になど到着、インターネットで「君たちはどう生きるか」(吉野源三郎著)の主人公のニックネームであることがわかりました。胸のつかえがそれとして早速読み返したことはいうまでもありません。前に読んだのは中学三年生が高校一年生のころと記憶しますから、四十数年ぶりの再会でした。コベル君は中学二年生。勉強はよくできるのですが点取り虫タイプではなく、遊ぶこと、いたずらが大好きな男の子で、野球では二塁手です。テニスの屋上から大勢の人や車が往來するのを見たコベル君は、社会が多くの人々で成り立っていること、自己中心に考えていると世の中の本当のことが分かってなくなってしまうことに気づきます。家業を手伝い学校を休むようになった級友へのいたわりと激励、上級生のいじめにあう親友を助ける勇気が出せず友情を傷つけたことへの自己嫌悪と立ち直りなく、さまざまなかを経験するなかで

友情の重みを自覚し、級友の役に立ちたいとすることを育み、考え方と生き方の世界を広げていきます。小学校高学年ととりわけ中学生のみなさん、時代がちがう、なんて言わずに、是非、コベル君と話をしてみてください。

「コベル君の本は山本有三先生「路傍の石」「真実一路」などの作者」が編纂された「日本少国民文庫(全一六巻)のなかの一冊で、第一回目として一九三五年にだされた、心に太陽を持って(山本有三編著)も多くの子どもたちの心を育ててきた宝箱です。巻頭の詩には、何ごとにもへこたれずに立ち向かう勇気がかきたてられます。

教育長室に、この文庫の編集に参画された杉並区在住の児童文学者石井桃子先生の詩の色紙があります。最後に石井先生のメッセージが子どもたちの心に響くことを願いながらこの詩を紹介いたします。(無断転載をお許しください)

子どもたちよ
子ども時代をしっかりと
たのしんでください。
おとなになってから
老人になってから
あなたを支えてくれるのは
子ども時代の「あなた」です。

編集(へんさん) いろいろなる材料を集めて整理し書物をつくること

「ご意見をお待ちしています」

「教育委員からの発信」をお読みになった方からの「ご意見」を募集いたします。ご意見は郵送、または区のホームページで受け付けます。送付先 〒166 8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 杉並区教育委員会事務局庶務課「教育委員からの発信」あて ホームページ <http://www.city.suginami.tokyo.jp/> (場所:生活ガイド) 子供、教育 教育委員からの発信)

ゆうゆうハウスが休館します
西田小・杉九小のゆうゆうハウス(生涯学習振興室)は、7月11日(日)、参議院議員選挙のため、お休みします。また、西田小のゆうゆうハウス(郷土資料展示室を含む)は、同校の外壁塗替え工事のため、7月20日(火)～8月31日(火)休館します。なお、休館期間中、会議室の利用申込み(9月分)は、8月23日(月)～8月31日(火)、社会教育スポーツ課管理係で受け付けます。問い合わせ先:社会教育スポーツ課管理係

済美教育研究所では、教育相談事業の報告と東京学芸大学 小林正幸教授の講演「通常学級における軽度発達障害児への支援」を行います。日時 8月3日(火) 9時～12時 会場 産業商工会館(阿佐谷南3-2-19) 問い合わせ先:済美教育研究所 ☎3311-0021



～世界が見る 日本を知ろう～ 「世界の教科書にみる日本」展を開催します

教科書をととして、世界の国々から日本がどのように見られているかを知ることができる「世界の教科書にみる日本」展。3月15日～18日の計4日間開催し、「日本を見直す良い機会となった。」「日本がどのように見られているかよくわかった。」と大変好評でした。

「もっと開催してほしい。」という声にお答えして、再度8月2日～8日、期間を7日間に延長して開催します。みなさんのご来場をお待ちしています。

「世界の教科書にみる日本」展

開催日時：8月2日(月)～8月8日(日) 10時～18時

会場：杉並区産業商工会館1階展示室(阿佐谷南3-2-19)

主催：杉並区教育委員会 協力：財団法人国際情報センター

入場料：無料 駐車場が手狭なため、車での来場はご遠慮ください。

問い合わせ先：庶務課計画係



区立方南小学校及び高井戸小学校の校舎改築検討協議会の発足について

区立方南小学校及び高井戸小学校の耐震改築にあたり、基本計画の策定のため「杉並区立方南小学校校舎改築検討協議会」及び「杉並区立高井戸小学校校舎改築検討協議会」を発足し、地域や学校の関係者、学識経験者の協力を得て、基本計画案の検討を行います。

各検討協議会は、平成16年6月から12月までそれぞれ6回の開催を予定しています。第一回検討協議会の開催日は、立方南小学校が平成16年6月30日、高井戸小学校が平成16年7月5日、いずれも開催時間は14時～16時で、開催会場は各小学校です。第2回以降の開催日については、教育委員会ホームページ等に掲載します。

子どもたちが楽しく学び、いきいきとした心を育む魅力ある教育を実現していくために、教育の将来展望、安全管理等の諸課題に対応した施設づくりを行います。

問い合わせ先：施設課

「歯の衛生に関する作品」の入賞者・作品が決定しました

「歯の衛生週間」に、あわせて実施した「歯の衛生に関する作品募集事業」(杉並区歯科医師会・学校歯科医会主催)につきましては、区立小中学校の児童・生徒からたくさんの力作が寄せられ、入賞者に対する表彰式が6月26日(土)区立産業商工会館で行われました。

入賞者、入選作品の一部をご紹介します。(敬称略)

教育委員会では、歯の健康づくりに向けて今年度より区立小学校全校(3年生対象)養護学校でブラッシング指導を中心とした口腔保健指導を実施しています。

標語入賞者及び作品

かがみ見て ゆっくりみがくと きれいだね
浜田山小学校 2年1組 大野 裕 希(金賞)

ごはんをたべおったら ハブラシマンの とうじょうだ
浜田山小学校 2年3組 西 田 将(金賞)

歯ブラシで 気分も え顔も ピッカピカ!
桃井第二小学校 3年1組 小 野 桃 佳(金賞)

未来の歯 今の努力に かかっている
杉並第七小学校 5年2組 粕 谷 順 子(金賞)

光る歯は あなたの笑顔 輝かす
久我山小学校 5年1組 松 田 梨佳子(金賞)

大切に 歯の健康は 体の健康
大宮中学校 2年A組 宇都宮 千 咲(金賞)



区長賞
松ノ木小学校 3年1組
関根 千紘

図画入賞者(区長賞・金賞)

松ノ木小学校 3年1組 関 根 千 紘(区長賞)
永福南小学校 2年1組 田 中 結 子(金賞)
永福南小学校 2年1組 山 崎 和 希(金賞)

ポスター入賞者(会長賞・金賞)

新泉小学校 6年1組 柴 田 春 音(会長賞)
和泉小学校 6年1組 村 澤 慧 吾(金賞)
泉南中学校 3年B組 津 田 美香子(金賞)

作文入賞者(金賞)

「むしばにならないために」
桃井第二小学校 3年1組 奥 田 有里紗(金賞)



会長賞
新泉小学校 6年1組
柴田 春音

教育委員会の動き 平成16年3月～5月

【教育委員会開催状況】

定例会 5回
臨時会 1回
議案 30件
報告事項 21件

【主な案件】

は審議、は報告事項
杉並区体育施設等に関する条例施行規則の一部を改正する規則
平成16年度杉並区立学校の学期及び休業日について
杉並区立学校教科用図書採択に関する規則
平成16年度杉並区中学生海外派遣について
小柴昌俊博士とニュートリノ天文学展示室の開設について
杉並区における社会教育・スポーツ施策の方向性と目標について(中間報告)
杉並区立小・中学校教科用図書等の採択事務について
年度別学校希望制度実施結果について

学校希望制度を実施します

来春小・中学校へ入学する新1年生を対象に学校希望制度を実施します。希望できる学校の範囲は、住所地の指定校に隣接する学校です。(希望申請期間9月7日～10月4日)

学校希望制度の詳細は、7月に学校等を通じてお配りする「学校希望制度のご案内」または広報(7/11号掲載予定)をご覧ください。

問い合わせ先：学務課

児童・生徒の健全育成に関する警察と学校との相互連絡制度に関する協定について

杉並区教育委員会は、杉並区個人情報保護審議会での審議を経て、平成16年6月18日に警視庁との間で、「児童・生徒の健全育成に関する警察と学校との相互連絡制度に関する協定」を締結しました。協定は、青少年の非行問題が多様化、深刻化、広域化している現状から、児童・生徒の健全育成のため、非行等問題行動の防止及び安全確保について、警察と学校が緊密な連携の下で効果的な対応を図ることを目的としています。

協定に基づき、都内各警察署と小中学校との間で、児童生徒の非行等問題行動に関する必要な情報の連絡を行い、非行等問題行動に関し、当該事案に係る具体的な対策を実施していきます。詳しくは教育委員会ホームページをご覧ください。(http://www.kyouiku.city.suginami.tokyo.jp/)



平成15年度杉並区指定・登録文化財が平成16年3月24日の教育委員会で決定しました。詳しくは教育委員会ホームページをご覧ください。
場所：教育委員会ホームページ 文化財 最新の指定登録文化財



古紙配合率100%再生紙を使用しています。